

小児・看取り対応 24時間・365日の在宅ケア



退院前から、ご利用者様・ご家族様と退院後の生活について考え、自宅での生活をサポートします。
私たちが訪問の際に必ず提供しているのは、日々の暮らしに、安らぎや楽しみ、ワクワク感をプラスできるコミュニケーションとケアです。
一緒に次のステップを探していきます。
「訪問看護ステーション エール」は、ご利用者様とご家族様を、いつでも支える・駆けつける、心のよりどころになりたいと思っています。

株式会社エール
yell.
<http://yell-oka.com>

訪問看護の現場からおくる、 災害の備えについての提案

訪問看護ステーションエール
平田晶奈

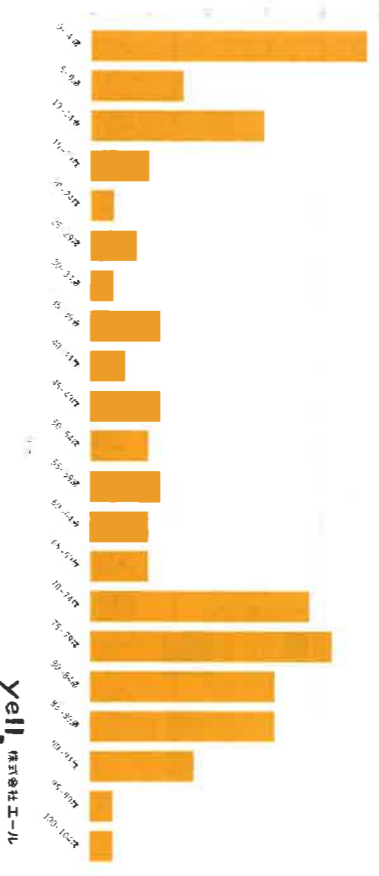
お話しすること

- ・訪問看護ステーションエールについて
- ・災害対策において心掛けてのこと
- ・平時の取り組みの実際
- ・西日本豪雨の際の取り組み

yell. 株式会社エール



yell. 株式会社エール



yell. 株式会社エール

エールの利用者の状況（年齢構成別）

医療的ケアが必要な方が避難所に行けない理由

- ・電源確保ができない。
- ・不特定多数の人が集まるため、感染リスクが高く、それがもとで急変・重症化の可能性大。
- ・不特定多数の人が集まるため、衛生面・プライバシー面を保ちながらケアを行うスペース確保が困難。
- ・環境やケアを行う人が変わることが大きなストレスとなり、体調不良や急変につながることもある。

※さらに、医療的ケアが必要な方たちのかかりつけ医は、基幹総合病院＝災害拠点病院であることが多く、災害時の病院受け入れも難しいことが予測される。

yell. 株式会社エール



災害対策において心掛けていること

■災害対策において心掛けていること

1. 油断せず、とにかく備え続ける
2. 1人（1事業所）で完結しない
3. 発災時に備えて“自助”トレーニング

Yell 株式会社エール



エールカフェ

- ・足踏み・手動吸引機のデモ
- ・災害対策の工夫を情報交換
- ・それぞれの地域の実情を共有
- ・先輩ママからのアドバイス
- ・発災時に活用できる福祉機器の体験会

など

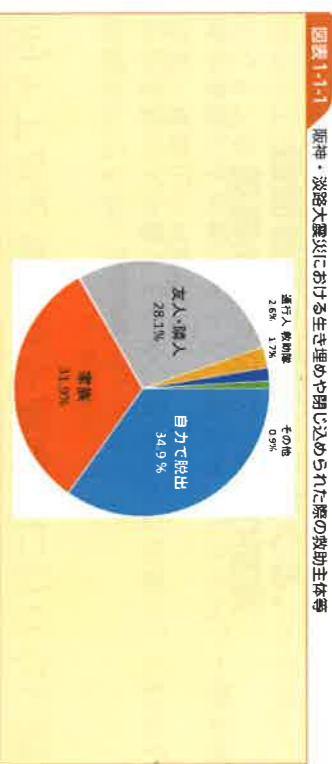
Yell 株式会社エール

社内備品



Yell 株式会社エール

自助70% 共助30% 公助は数%
まずは、「わが身は自分（家族）で守る！」



出典：(社)日本火災学会 (1996) 「1995年兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」より内閣府作成

Yell 株式会社エール

1. 油断せず、とにかく備え続ける

災害対策を皆が忘れず備え続けられるように、定期的な情報発信をしています。

- ・エールカフェ：利用者・家族・職員や外部講師をお招きして情報交換や勉強会を行う
- ・エール通信：情報発信を定期的に行う
- ・社内勉強会（災害時のコミュニケーションや防災・災害対策について）
- ・マニュアルや利用者リスト、社内連絡網の更新
- ・備蓄品の定期的な点検
- ・BCP作成

Yell 株式会社エール



エール通信

Yell 株式会社エール

IBCP（事業継続計画）作成

- ・社内連絡網（電話番号）作成
- ・社内SNS作成
- ・利用者の避難予定場所の把握
- ・利用者への連絡リスト作成（独居、医療的ケアの有無、寝たきり）



引用文献：静岡看護大学 災害対応マニュアル

2. 1人（1事業所）で完結しない

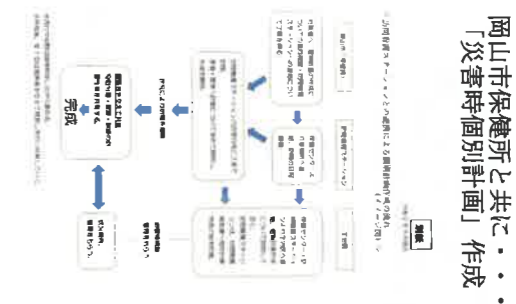
- 普段はゆるく広くつながっていて、ここぞ！という時に、できる範囲でサポートし合う関係作り
- ただつながるだけでなく、平時から定期的に集まって、災害時の話をする機会を作っておく

例えば・・・

- 行政
- 業者（医療機器メーカー、冠婚葬祭業者など）
- 介護保険サービス事業所（施設、通所、訪問、居宅など）
- 学校
- 地域住民（民生委員、愛育委員など）

困った時、「助けて」と、SOSできる連携先ありますか？

Yell 株式会社エール



3. 発災時に備えて“自助”トレーニング

発災時の初動は、自助。まずは、自分・家族のこととは自分たちで守る！という意識を根付かせる。

- 在宅移行期からの災害対策
- 利用者の備蓄品や家屋の確認
- 避難訓練

Yell 株式会社エール

■外出に慣れることのメリット

- 様々な過ごし方、活動ができ、本人・家族の生活が豊かになる
- 移乗、車に揺られる、家とは異なる環境（気温、照度、音、匂い等）で過ごすことが積み重なり、家以外でも体調を崩さず過ごすことが可能となる
→様々なサービスの利用ができる、家族事由等での緊急シヨートステイでも体調がなんとか保てる

- 身軽に動ける家庭 = 災害に強い家庭
- どこでも過ごせる家庭 = 災害に強い家庭

Yell 株式会社エール

キャンプを楽しみながら、防災意識を高めよう！

～ひなんピッキング～



Yell 株式会社エール

■避難訓練の実際

～4歳の医療的ケアが必要な児～

- 必要な医療的ケア
- 人工呼吸器
 - 気管切開・気管カニューレ
 - 在宅酸素
 - 吸引
 - カンフアジスト（排痰）
 - 洗腸
 - 導尿
 - 点眼
 - 胃ろうから注入（栄養剤・内服薬）



■避難訓練

避難準備 15分

↓

児の移動 5分

↓

避難所までの移動 10分



Yell 株式会社エール

